

日本サルコペニア・フレイル指導士活動報告書

職種	<input type="checkbox"/> 医師・歯科医師、 <input type="checkbox"/> 看護師、 <input type="checkbox"/> 薬剤師、 <input type="checkbox"/> 保健師、 <input type="checkbox"/> 理学療法士、 <input type="checkbox"/> 作業療法士、 <input type="checkbox"/> 言語聴覚士、 <input type="checkbox"/> 管理栄養士、 <input type="checkbox"/> 臨床検査技師、 <input type="checkbox"/> 社会福祉士、 <input type="checkbox"/> 介護福祉士、 <input type="checkbox"/> 精神保健福祉士、 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士、 <input type="checkbox"/> 歯科技工士、 <input type="checkbox"/> 臨床工学技士、 <input type="checkbox"/> 放射線技師、 <input type="checkbox"/> 介護支援専門員、 <input type="checkbox"/> 臨床心理士、 <input type="checkbox"/> 健康運動指導士、 <input type="checkbox"/> その他()
内容	<input type="checkbox"/> サルコペニア <input type="checkbox"/> フレイル <input type="checkbox"/> ロコモ <input type="checkbox"/> その他()

症例

心身機能の包括的評価および臨床経過：(要約500文字以内)

年齢：_____

性別：_____

病歴等：_____

本症例に関する考察：(心身機能の包括的評価や評価を中心に記載して下さい。150文字以内)

<症例報告書の注意点>

- 1) 症例の選択が適切であること(サルコペニア、フレイル、ロコモの症例が基本。プレフレイルも可。)
- 2) 診断根拠を記載し、何の基準を用いた診断や判断かを示すこと(フレイル評価として、J-GHSを用いたか、基本チェックリストをもちいたか、など)
- 3) 診断に基づいた指導内容の記載すること(指導内容は簡潔かつ具体的に記載)
- 4) 用語の概念に注意すること(例：サルコペニアは症候群としての捉え方から疾患として捉えられるようになっている)
- 5) 用語のスペルミス、数字のミスがないように注意すること
- 6) 介入による経過を簡潔に記載すること

□研修会等の活動(講師)

対象: _____

実施日: _____

実施場所: _____

目的: _____

講義内容(要約500文字以内)

活動を通じて予想される効果(研修会に関する考察、150文字以内)

<活動報告書の注意点>

- 1) 参加者の具体的な背景と参加人数を記載すること(75歳以上の地域在住高齢者〇名、等)
- 2) 講義の内容を簡潔かつ具体的に記載すること(例:主たる栄養素を摂取する食品を説明した、食品に含まれる蛋白質の量を説明し、実際に自己の食事から1日のたんぱく質量を概算する機会をもった、等)
- 3) サルコペニア、フレイル、ロコモに関する説明が行われていること(糖尿病の食事指導などのみでは不可)
- 4) 参加者を対象にした集計が行われていれば記載すること(例:参加者に行った指輪っか法で陽性者は30%であった、等)